

宗四小だより 冬休み号

志木市立宗岡第四小学校
志木市上宗岡1-1-2
048-473-5250
平成27年12月24日

学校教育目標 ○考える子ども ○思いやりのある子ども ○はたらく子ども ○じょうぶな子ども

年末年始には様々な体験を！

校長 坂口 栄二



学年年の大根

宗四小だよりの12月号で、日本が受け継いできた心として「争いをせず、互いに相手を大切に、協力し合える**和の心**」についての考えを述べました。

和の心は**長い歴史の中で生まれ、世界に誇れる心**であるということも述べました。

そのような和の心は、年間を通して行われる**伝統文化の中で生まれ**てきました。和の心を育む伝統文化は、特に年末年始に多く体験することができます。

【そもそも正月とは？】

正月には大切な意味があります。

そもそも正月とは、その年の作物の豊穰をつかさどり、家族の健康や幸せをもたらしてくれる**年神様をお迎えし、お祝いする行事**です。ですから、年末には年神様を迎えるための準備をし、年始には年神様が来てくれたことと新しい年がよい年であることを願い、お祝いをするのです。

【年末年始の伝統文化】

年末年始に関わる主なものには次のようなものがあります。

<大掃除>

「針供養」などの風習があるように、**感謝の気持ちを込めて**、今年使った道具などを手入れしたり片づけたりします。また、「すす払い」をして、1年間の汚れを落とし、きれいになった家に年神様を迎えます。きれいであればある程、年神様のご利益を運んでくれるといわれています。

<年末年始の食べ物>

【年越しそば】

細く長く、来年も幸せをそばからかき入れます。なお、年を越す前に食べきらないと、来年の金運に恵まれないといわれています。

【おせち料理】

もともと、神様にささげる料理を「御節（おせち）」といいました。また、家族の繁栄を願い、めでたさが重なるようにお重（重箱）に詰めるようになりました。

そのほかにも「おとそ」や「お雑煮」などもあります。

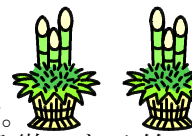


<正月飾り>

年神様にきていただくための目印として正月飾りをします。

【門松】

門の飾りです。年神様はこの門松を目印にやってきます。



神の宿る木の松、生命力の象徴である竹、1年の始まりを意味する梅で作られています。

【しめ飾り】

玄関に飾り、神様の居場所をしめします。

【鏡もち】

床の間、または高いところに飾ります。年神様へのお供えであり、年神様の拠り所です。

<正月の遊び>

【羽根つき】

1年の厄をはね、子どもの健やかな成長を願うという意义があります。失敗したとき顔に墨を塗るのは、魔よけのおまじないです。

【凧あげ】

江戸時代に男の子の誕生祝いとして凧あげをするようになりました。高くあがるほど子どもが元気に成長するといわれます。

【すごろく】

何人でも参加できることがお正月の団欒にぴったりです。その年の運だめしにもなります。



【福笑い】

目隠しをして、顔の輪郭を描いた紙の上に、目・鼻・口・耳などを置いていくゲームです。出来上がった顔を見て楽しみます。「笑う門には福来る」と言われるように、初笑いをして1年間笑顔で過ごせるようになれます。正月にふさわしい遊びです。

他にも、**こま回し、かるた、お手玉**なども正月の遊びです。

年末年始の伝統文化には他にも、除夜の鐘、年賀状、お年玉、初詣、年始参りなどもあります。

明日から冬休みです。今学期も保護者や地域の皆様のご協力のおかげで、子どもたちも楽しい学校生活を送ることができました。

冬休み中に**年末年始にこそできるたくさんの体験をして**、3学期元気に登校してほしいと思います。よいお年をお迎えください。